

平成28年5月1日

会員各位

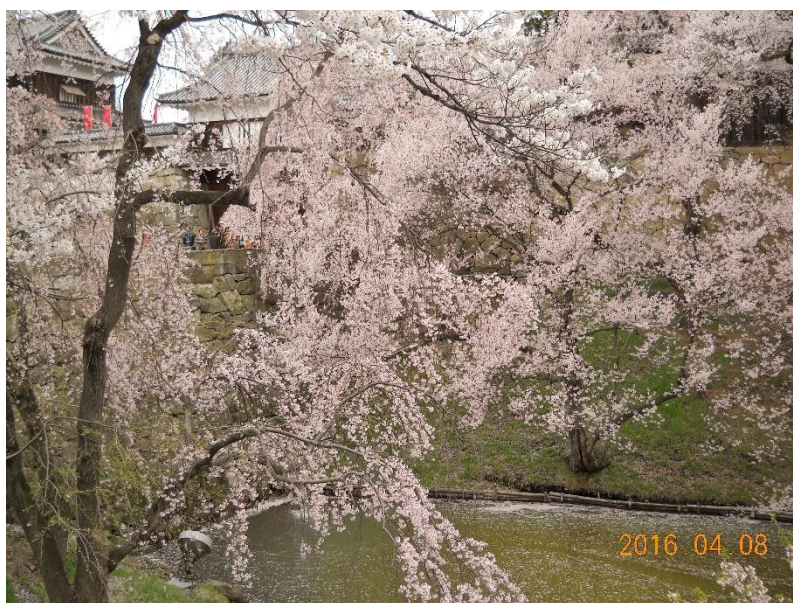
協会だよりー281(5月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第41期定期総会開催 日時：5月12日(木) 場所：JX六本木クラブ
役員会 14:30~15:30 総会 16:00~17:00 2F会議室
懇親会 17:30~19:30 BF和室
- 第228回月例会(講演会) 日時：7月7日(木) 場所：主婦会館(四ツ谷駅前)
講演会 14:30~16:45(二件) 懇親会 17:00~19:00
備考：詳細は5月中旬にご案内いたします。



上田城跡の枝垂桜と花筏を愛でる (4/8)

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二. 会員会社より連絡(人事異動・担当者交代)
- 三. 事務局より(五月度の予定)
- 四. アマゾン川の源流を訪ねて(鶴岡武)
- 五. 【雑学】町田の境界を巡る3-1. (鶴川駅から唐木田駅まで)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー280 (4月号) をメール&郵便で送信 (4/1)
- ② 第33回 JSCRA 会(協会ゴルフ大会)
日 時：平成28年4月11日(月)
場 所：多摩カントリークラブ (〒206-0822 東京都稲城市坂浜 3360)

参加者11名にて、天気晴朗なれど、風強しで、グリーンは奥より難しく、皆様スコアには苦勞されたようです。

優勝者：角田雅司殿

(横浜金属㈱営業部副部長)

二位：宮崎隆史殿

(㈱徳力本店取締役工業品統括部長)

三位：飯田哲男殿

(日本無機化学工業㈱代表取締役社長)

B B：蔭佐 仁殿

(小島化学薬品㈱取締役営業本部長)

次回・第34回JSCRA会(秋季)の幹事は角田さんと蔭佐さんをお願いし、狭山GCにて本年・同所開催の「日本オープン」終了後に予約することになりました。

③ 平成27年度の会計監査

日時：4月12日(火)15:30～

場所：太陽鋳工㈱会議室

出席：監事、会計、専務理事

業務：平成27年度の会計監査

④ 第41期(平成28年度)定期総会資料の送付(4/14)

⑤ 触媒資源化実績報告書(2015年版)の送付(4/14に総会資料に同封)

⑥ 臨時運営委員会

日時：4月21日(木)16:00～

場所：堺化学工業㈱会議室

出席：運営委員6名、専務理事

[予定事項]

① 第41期定期総会開催

日時：5月12日(木)

場所：JX六本木クラブ

➤ 役員会 14:30～15:30 2F会議室

➤ 総会 16:00～17:00 2F会議室

➤ 懇親会 17:30～19:30 B F 和 室

② 第一回運営委員会

日時：5月26日(木)16:00～

場所：堺化学工業㈱会議室

出席：運営委員、第239回月例会幹事会社、専務理事



2. 会員会社より連絡(人事異動・担当者の変更)

● (株)フルヤ金属・担当者の変更(大場さんの4月付退職による)

大場太祐殿(営業本部製品営業部課長) ⇒ 山本正樹殿(営業本部製品営業部長) … 暫定担当いたします。

● (株)アサカ理研・担当者の変更(会社の申し出による)

布沢 剛殿(営業本部営業企画部海外・新規営業 Gr Gr 長) ⇒
佐藤 剛殿(営業本部営業企画部海外・新規営業 Gr マネジャー)

3. 事務局より(5月度の予定) 出勤予定: 11 日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
× (M)	×	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	○	×
8	9	10	11	12	13	14
×	○	○	○	41期総会	○	× (M)
15	16	17	18	19	20	21
×	× (G)	○	×	○	× (W)	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	○	×	運営委員会	○	×
29	30	31	6/1	6/2	6/3	6/4
5/29~6/2 北海道へ(札幌・余市・積丹など)					○	×

4. アマゾン川の源流を訪ねて

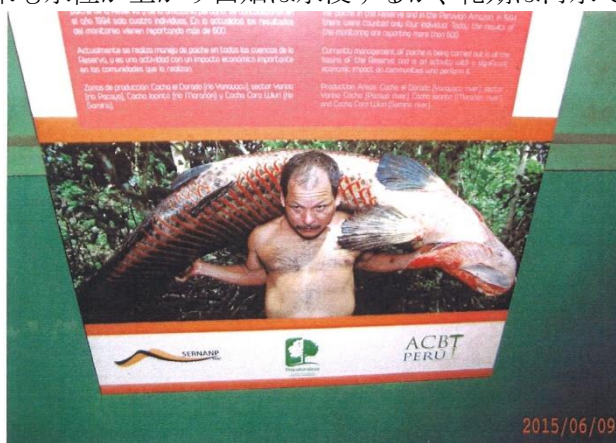
ブラジルの日本人町が名称変更で東洋人街と呼ばれており、推察通り、韓国、中国人が急増し名前が変わってしまったのは残念だ。唯一本通りに鳥居があり、旧日本人町の名残をとどめている。

サンパウロからペルーに移動しアマゾン源流を訪ねた。先ずペルー国リマ市へ移動、市内観光でアルスマ広場を訪問、休日の為沢山の信者が寺院に集まっており、皆首に太いロープを巻き意味不明なるもこの宗教の正装らしかった。昼食は海の中に突き出たレストランで、30年昔来た食堂には驚いた。全く同じで自分が激変している。リマのマリオットホテルは海に面し眺めもよく、前の恋人広場は気に入ったが要は繁華街である。



翌日リキトス市まで飛び、バスで一時間走行ナウタに夕方着く。真っ暗なスコールの中、合羽を着てボートに乗り母船にたどり着く。以後毎日船泊ホテルとなり、ほっとする。

翌朝救命上着をつけ、モーターボートで母船を離れアマゾン川をクルージング、極彩色の始めてみる鳥が飛び交い、樹の上には「怠け者」が動かず、鷲等の天敵のみ逃げる由、もともと葉の無い樹におり乾期に新芽を食べ、糞は週に一回、交尾は何日もしているらしい。水中では薄赤色の河イルカが沢山泳いでおり、赤い綿状の実をつけた樹木の間を小さな猿軍団が跳ね回っていた。珍しいものばかりで少し疲れたが、500トンの母船に戻りビールとバイキングで英気を取り戻す。雨期は4米も水位が上がり田畑は水没するが、乾期は河水で肥沃となり作物が豊作、エジプトのナイル河氾濫と似ている。こんな山奥でも電線があり、藤森前大統領が貧困救済に力を注ぎ、発電機を設置し夕方6～8時間電灯が付く由、どこでも彼の評判は良かったが、軍の不祥事が彼の責任と問われ今獄中にある。尚娘のケイ子藤森が前回大統領選に出馬、僅差で負けたが次はかなうと評判である。



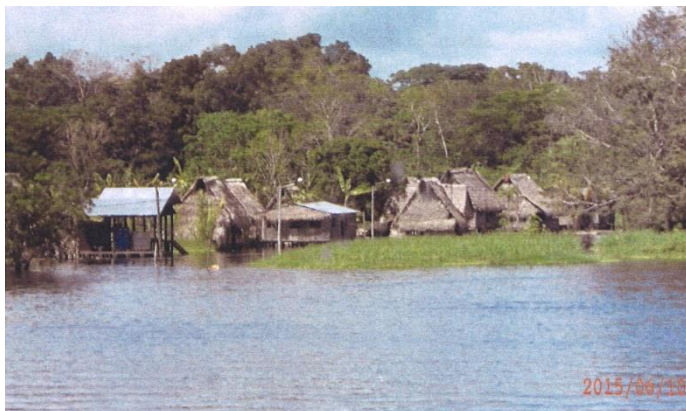
柱で浮かした学校もあるが(小屋) 雨季は休みだ、子供たちの土産は日本のボールペンで、大変喜ばれ中でも2～3色は大人気だ。日本語を教えたなら覚えの早いのに驚いた、知能指数は高いか？連日クルージングで珍しいジャングルの説明を受ける。



毒蜘蛛のタランチュラを捕獲したり、美しい原色の蜥蜴らを見たが、大蛇アナコンダを探すも水量が多く残念。夕陽を見に行ったら帰りに30cmの鰐の赤ちゃんを捕獲、シャンペンで乾杯、満天の星空に輝く南十字星が脳裏に焼き付き大満足。

明るく日ジャングル探検に出掛け、現地ガイドと山中を歩き回る事2時間、狩猟時矢じりに塗る毒カエル、蜘蛛タランチュラ、喰いつき亀、大蛇等、危険な自然動物園だ、

薬草の効能をいろいろと説明するも本当に効くなら、医者も病院も不要だ？湿度は高く、暑くて大汗をかく。現地人の平均寿命は、男70歳、女65歳の由、信じ難い数値だが誰か適当に言ったのかも。猛魚ピラニア釣りで、候補地にボートを止め、水中を棒でかき回しそこへ牛肉付き針をたらしめて釣る、要は動物が暴れまわる環境でないとピラニアは集まらない。赤いカラフルな危険魚がよく釣れ、母船のコックに揚げてもらい食すも美味であった。途中



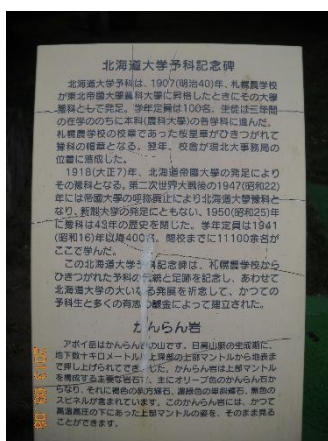
人が乗れる大葉ハス群生地もクルージングした。3日目の夕食は疲を癒すべくガイド、コック、職員と全員が集まり、反省会兼懇親会で盛り上がり飲み会は万国共通だ。最後の日ボートでイキトス湾から市の状況を見たが、水上の小屋住まい家族が相当おり、番地が無いのではとの問いに各家に番号が付けられている由、お互いの家が渡り廊下でつながっており

便利らしい。市民通称30万人なるも、水上生活者を含めると60万人?湾クルージング時、沢山の製材所を見たが、アマゾン奥地から材木を調達しており、CO2削減に影響しないかと鳥越苦勞をした。空港への途中公園での飼育マナウス赤ちゃんに直接ミルクや野菜をやり、4日間はあつと言う間に過ぎた。このツアーは日本で一般募集が無く再挑戦は不可で、且全て英語で不明部分が多く、堪能なら更に楽しめたと思う。



記：鶴岡 武（アジア物性材料(株)取締役会長）

- 札幌観光のコース外だが北大の構内には、北海道開拓にまい進した人物を紹介した博物館や記念碑が多く建立されている。一度散策してみても如何。

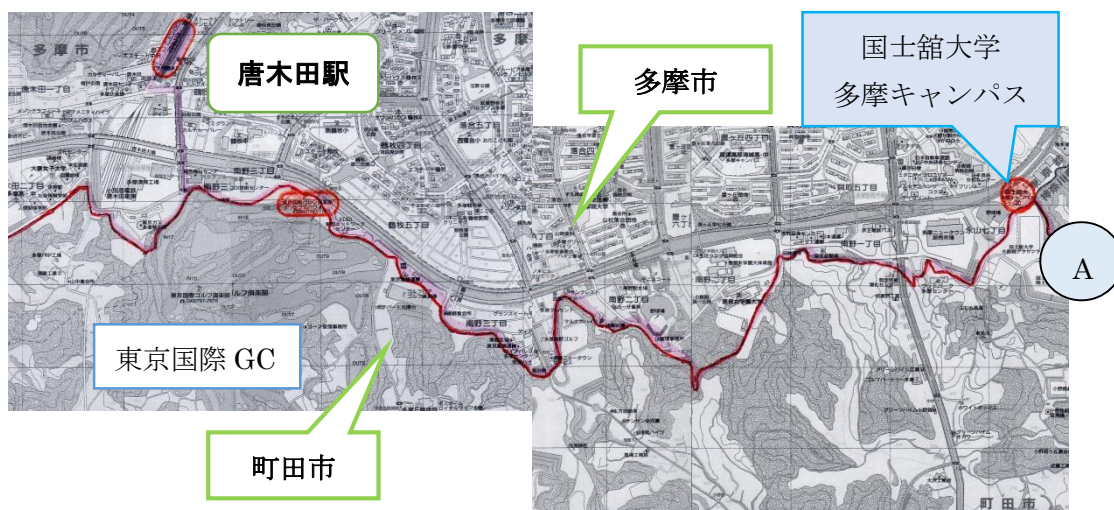
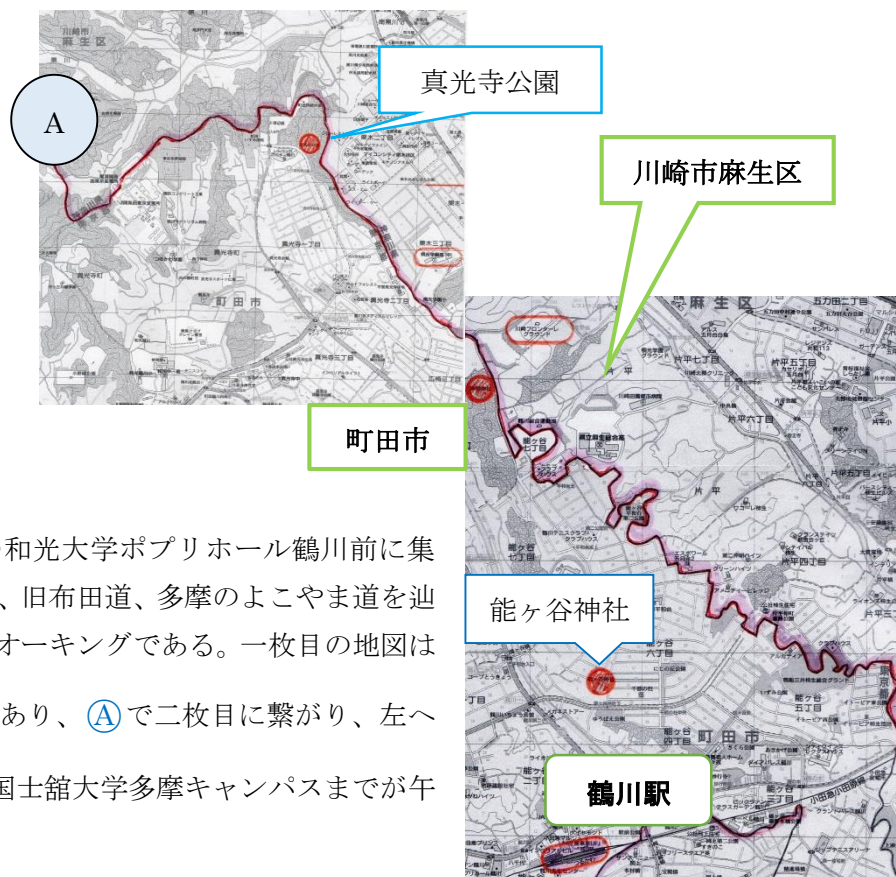


北大予科記念碑
日高山脈アポイ岳の橄欖岩に刻む「大志を抱いて」
(北大札幌キャンパス散策で)

5. 【雑学】町田の境界を巡る3-1. (鶴川駅から唐木田駅まで)

鶴川地区は町田市の北東部に位置し、川崎市麻生区と多摩市に接している。都県境と市境は複雑に屈曲（地図参照）、住宅街が町田と川崎に分断されている場所もあるが、基本的には分水嶺を境としているようだ。その分水嶺は一部、町田、川崎、多摩の各市により整備され遊歩道となっている。そこからは丹沢や富士山を遠望し、且つ市街地や谷戸を眼下に眺められる。今回は東急田園都市線のすずかけ台駅から小田急小田原線鶴川駅まで町田市南部の横浜市と川崎市の境界を歩いた。

今回は鶴川駅前の和光大学ポプリホール鶴川前に集合して鶴川台尾根道、旧布田道、多摩のよこやま道を辿り、唐木田へ向うウォーキングである。一枚目の地図は左上に向って境界があり、**A**で二枚目に繋がり、左へ向って境界がある。国士舘大学多摩キャンパスまでが午前中のコースだ。



2月18日(金)、日中は18度まで気温上昇との予想、歩行中の着衣の選択に苦労するが、今回の参加者も、おおよそ40名、A班、B班の2班に分かれて15分間を空けて出発する。



本来ならば、町田市と川崎市麻生区の境界は能ヶ谷五丁目のイトーピア柿生団地や商船三井柿生総合グラウンドと片平三・四丁目にあるが、今回のウォーキングはそこをパスし真光寺川に沿って進む。神蔵さん宅の横、能ヶ谷神社下より階段を上り、能ヶ谷神社へ向う。鶴川駅前には、香山園庭園・美術館(神蔵家・小田急線開業時に鶴川駅が出来た元とも言われているほどお灸の人気場所)があるが、現在休園中で、町田市に移譲

し形を変えて開園の予定だそうだ。



《能ヶ谷神社》町田市能ヶ谷 6-20-1



元は東照宮と呼ばれ、江戸時代の正保年間

(1644～1647) に創建された。大正2年、能ヶ谷地域の4社(住吉、天照大神、神明、表谷)が合祀され、翌3年、社名を能ヶ谷神社とした。平成20年師走の社殿焼失により、現社殿は平成22年、鉄筋コンクリートで再建された。(町田市 鶴川地区 神社めぐりより) 神社の南は千都の杜、北は平和台、西は鶴川団地等の住宅地に囲まれている場所。鶴川団地方面を見て、右のこんもりした森の手前が「旧白州次郎邸(武相荘)」ですよとガイドさんの説

明有り。今回は尾根道を行く為、立ち寄りません。

能ヶ谷神社より鶴川第二小学校（2015年NHK合唱コンクール全国大会の銀賞受賞校）を脇に見て、鶴川平和台住宅を通過する。JR東海所有の広い土地（旧日本政策投資銀行の運動施設）に到達する。



町田市能ヶ谷七丁目 & 川崎市麻生区片平所在

現在、スポーツ施設は閉鎖され、グラウンド内のあちこちでボーリング調査が行われている。この真下をリニア新幹線（中央新幹線）が通り、通気口と緊急脱出口を作るそうだ。品川を基点として最初に橋本駅を作るのでこの地下を通るのかな、リニアなんて他人事に思っていたが意外と身近な場所を通るものだ。

市境界の真上の道路は細いが舗装されており、神明社や川崎フロンター



町田市の下水マンホールデザイン



川崎市の下水マンホールデザイン

レのグラウンドの先までは人家もあり車の通行も可能である。町田市と川崎市の境界上の道路のため両サイドのマンホールのデザインが異なっている。

神明社近くの境界路より広袴の住宅地を見下ろす。



車通行可能な境界上道路

以前、神明社に来たときは広袴より息を切らしながら上ってきたが、今回は裏口・尾根道より僅かだが下りである。フロンターレのグラウンドを見下ろす先は、いよいよ鶴川台尾根緑道となり人道専用となる。緑道を行くと右手に桐光学園の小学校が現れる。



桐光学園小学校の校舎

緑道の左手、町田側は真光寺の住宅街であるが、右手の川崎側は栗木二丁目のマイコンシティ栗木地区と名付けられた工場群が身近に見える。



階段の下は真光寺住宅街



あさお多摩沿線コース2の緑道

一路、林の中を木の根っこに気をつけながら黙々と歩く。地図を見ないで先導に従って歩いているので方向感覚が狂ってしまうが、先には富士山の頭が見え隠れするので西に向っているのがわかる。尾根の下に公園らしきものが見えたが、ここが真光寺公園であった。

ここもまた、緑道から下った裏口入園である。この公園は南に面した日当たりの良い芝生の公園である。芝生を下り、やっとトイレ休憩と、水分補給及び気温の上昇による着衣の調整である。歩いている間は暑い、東屋などの日陰で休憩中はやはりまだ肌寒い。



ゴルフ場のような真光寺公園

一息ついた後、高層マンションを左手に見ながら、鶴川街道を横断して、霊園(町田いずみ浄苑)の先にある階段を上って近藤勇や、土方歳三等が日野より小野路まで通ったと言う

旧布田道に入る。左手下にはいずみ浄苑や東京多摩霊園などの墓地が続く。河津桜などが植えられ満開で美しかったが、行政の区界にはごみ処理場、下水道処理場、霊園、産業廃棄物処理業等の住居近辺では嫌われる施設が多いようだ。Jパワーの変電所内に町田と川崎の境界が走っている為、我々はそこを通れないため、通過した塀の外は川崎市である。



近藤・土方も歩いたという布田道



Jパワー西東京変電所の裏道より



東光寺の観音像

多摩キャンパスの西門やグラウンドは町田市であるが、正門・本部や建物は多摩市側にある。国土館大学を訪問したのは、ここの学食を利用して昼食タイムとするためである。西門より各種の競技場脇を通り、小さなトンネルを潜ると校舎が現れる。学食は正門前の学生ホールの一階にある。食券の券売機があり、食堂は一度に500人は入れるような広いホールとなっている。何を食べようかなと思いながらカツ丼のボタンを押す。400円ナリでカツ丼、味噌汁、漬物付きで安くて、ボリュームたっぷり、味は？であった。

国土館大学の学生は右系といわれた時期があり、鶴川キャンパス（現・町田キャンパス）の学ラン着用の学生が鶴川駅のホームで、先輩を見送るときに直立不動で「オッス！」と大声で送る風景がよく見られたが、今では見られず国土館大学の学生は紳士となったようだ。

変電所の裏道より先は境界上の道がない。小野路給水所脇のアスファルトで舗装された一般道を汗をかきながら黙々と進む。

おやまた、霊園が現れたと思ったら、尾根道より見下ろす形で、立派な東光寺の巨大な観音像が立っている。9時にポプリホール前を出発して、すでに13時で、のどは渴き、腹ペコである。何とか国土館大学体育学部



国土館大学多摩キャンパス西門

国士舘大学多摩キャンパスの正門は尾根幹線道路に面している。正門を入ったすぐ左手には建学の基本理念「誠意・勤労・見識・気魄」を刻んだ石碑が建立されている。



三市境界の標識 2016.02.26

昼食をご馳走になった我々は午後のコースに出発となるが、唐木田方面は正門を出て西だがりーダーは東へ進む。何故？と思っていたら大学隣の美多加堂ビル（菓子問屋）手前を右に入る。大学の裏手に出ると、**多摩よこやま道**が始まる。この裏手が川崎市、多摩市、町田市の3市境界となるのだ。この道を西に向うと目的地か？西門より通った小さなトンネルの上を通過しながら大学のグラウンド見下ろしてい

る。多摩よこやま道はキャンパス内を横断していた。

これからは町田市と多摩市の境界となり、道ナリに進んでゆくと、幹線道路の鎌倉街道（府中町田線）にぶつかる。今まで静かな道を歩いてきたのに、車の騒音が激しい。多摩ニュータウン卸売市場が、ほど近い鎌倉街道の上を通る一般道の陸橋を横断して南野方面へ向う。陸橋を渡った先には古来、多くの戦の為、大軍勢が通った長い谷というテーマの鎌倉古道の解説板がある。



鎌倉街道（陸橋より町田方面を望む）26



一般道からまた左手の多摩よこやま道へと入る。南側の町田市小野路は、まだまだ自然が多く残っているが、北側の多摩市南野は境界線ギリギリまで開発し尽くされている。境界の山を削って石垣を作ってあり目の下まで建物がある。今日のウォーキングはまだ続くのだが、この続きは3-2として、次回の報告とする。

【文責：専務理事】